

令和 6 年度 事業計画書

事業局課 環境創造局 管路保全課 新規拡充 □ 新規 □ 拡充 事業評価書番号 歳出予算科目 下水道事業会計収益の支出 1 款 1 項 4 目 政策番号 31 施策番号 6 事業名称 排水設備運営事業

(単位：千円)

区分 金額 財源内訳 国 県 その他 企業債 下水道使用料等 令和6年度 157,110 1,090 156,020 補助事業 0 単独事業 0 令和5年度 149,939 614 149,325 増△減 7,171 0 476 0 6,695

歳出 令和3年度 令和4年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 予算 事業費 70,787 107,415 157,110 157,110 157,110 企業債+下水道使用料等 70,144 106,926 156,020 156,020 156,020 決算 事業費 61,995 66,892 企業債+下水道使用料等 61,466 66,605

事業概要 (アクティビティ) 事業指標① (アウトプット) 事業指標② (アウトカム) 事業指標③ (アウトカム) 事業目的 背景・課題 根拠法令・方針決裁等 根拠・データ等 事業スケジュール 事業開始年度

(単位：千円)

細事業名称 6年度 5年度 差引(増減) 増減説明 ① 水酸化普及促進事業 24,450 23,002 1,448 リーフレット増刷のため ② 水洗便所設備資金助成事業 1,661 2,181 ▲ 520 繰入額の減による ③ 排水設備関連事業 95,954 93,204 2,750 排確電子化委託内容の変更による減 ④ 指定工事店関連事業 539 490 49 指定更新件数増による ⑤ 共同排水設備工事助成事業 13,410 12,966 444 過年度平均実績額の増による ⑥ マンホールトイレ設置助成事業 21,096 18,096 3,000 DX推進のための委託料増による ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 細事業合計 157,110 149,939 7,171

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。 課長 石井 智博 係長 新田 和弘 下水道普及係 山縣 恵実

令和 6 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	管路保全課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	下水道事業会計収益的支出	1 款 1 項	4 目	政策番号	34	施策番号	2
事業名称	グリーンインフラ活用促進事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	企業債	下水道使用料等
令和6年度	12,406	720				11,686
補助事業 単独事業						0
令和5年度	9,371	720				8,651
増△減	3,035	0	0	0	0	3,035

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	12,689	9,401	12,406	12,406	12,406
	企業債+下水道使用料等	11,489	8,681	11,686	11,686	11,686
決算	事業費	4,133	4,422			
	企業債+下水道使用料等	3,017	3,215			

事業概要 (アクティビティ)	水害の防止や水循環の再生強化のため、市民へ雨水の再利用・浸透を啓発し、雨水流出対策を行います。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
雨水貯留タンク設置助成件数	単位	目標	300	180	180	180	180	180
	件	実績	176.0	177.0				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
宅内雨水浸透ます設置助成戸数	単位	目標	50	20	20	20	20	20
	個	実績	1	1				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
整備検討地区	単位	目標	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1				
事業目的	公共の取組だけでなく、宅地内で雨水を貯留し、浸透することを目的とした取組として、雨水貯留タンク及び宅内雨水浸透ますを設置するものに対し助成を行い、宅地内での雨水流出抑制・雨水浸透を目指し、公共下水道への雨水流出量の緩和を図ります。同様に、農地が有する雨水浸透機能に着目し、雨水流出対策を行います。							
背景・課題	都市化が進む以前は、森林等が雨水を一時的に貯留し、地中に浸透する区域も多く、雨水がゆっくりと流れる仕組みができていました。しかし、都市化の進展によるコンクリートなどの増加により、雨水が地中に浸透しにくい区域が拡大しています。また、近年ゲリラ豪雨等に代表されるように、気候の変動による雨水対策が求められています。							
根拠法令・方針決裁等	横浜市宅内雨水浸透ます設置助成金交付要綱、横浜市雨水貯留タンク設置助成金交付要綱、横浜市補助金等の交付に関する規則							
根拠・データ等	過年度実績による							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度 雨水浸透ます設置助成制度導入</li> <li>平成23年度 雨水貯留タンク設置助成制度導入</li> <li>令和元年度 下水道と農の連携したグリーンインフラ検討事業開始</li> </ul>							
事業開始年度	平成19年度							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	①	雨水貯留タンク設置助成事業	6,416	3,431	2,985
②	宅内雨水浸透ます設置助成事業	990	940	50	在庫減による増刷のため
③	農地雨水流出対策検討事業	5,000	5,000	0	
④				0	
⑤				0	
⑥				0	
⑦				0	
⑧				0	
⑨				0	
⑩				0	
	細事業合計	12,406	9,371	3,035	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 石井 智博	係長 新田 和弘	下水道普及係 山縣 恵実
------------------------------------	-------------	-------------	-----------------